

## 第1回府中市中心市街地活性化協議会 議事の記録

1 日 時 平成27年4月21日(火)午後2時30分～午後4時15分

2 場 所 府中市役所北庁舎3階第1会議室

3 出席者

### (1) 委員

明治大学公共政策大学院	教 授	青山氏 (会長)
東京工業大学大学院社会理工学研究科教授	教 授	中井氏 (副会長)
大國魂神社	権 祢 宜	猿渡氏
くるる出店者協議会	会 長	竹田氏
フォーリステナント会	理 事	宮氏
(株)フォルマ	取 締 役	加藤氏
府中駅南口第一地区市街地再開発組合	事務局長	秋山氏
府中観光協会	専務理事	大津氏
府中市商店街連合会	副 会 長	高橋氏
むさし府中商工会議所	所 長	並木氏
むさし府中青年会議所	理 事	榎ヶ埜氏

### (2) 事務局

政策課	本間主査
経済観光課	佐伯課長、関田課長補佐
環境政策課	前島課長
地域安全対策課	市川課長、小塚課長補佐
ふるさと文化財課	江口課長、黒澤課長補佐
都市整備部	深美参事
管理課	松村課長
計画課	楠本課長、町井課長補佐、下田主任、瀬野事務
土木課	塚田課長、塩澤課長補佐
地区整備課	轟課長

4 配布資料

- ・ 次第
- ・ 府中市中心市街地活性化協議会委員名簿
- ・ 府中市中心市街地活性化協議会設置要領
- ・ 府中市中心市街地活性化協議会 第1回会議資料

## 5 内 容 **※太字・下線は指摘事項、調査事項**

### 5-1 【中心市街地活性化基本計画の概要について】

●会長意見 △副会長意見 □委員意見 ○事務局

- 2ページの数値目標について街なかの商業店舗数との記載があるが、業種や規模は考慮しないのか。
- 現段階では、卸売業と小売業を想定している。
- 認定を受けた後も、フォローアップとして国へ達成状況を報告していく必要があることから、業種や規模について、継続的に追える数値か否かを考慮していかなければならない。
- 府中市の場合、自転車の利用者が多いと思うが、どのように考えているか。
- 自転車の交通量も視野に入れながら検討していく。
- 自転車の交通量も出しておいたほうがよい。
- エリアの設定は、広い方がいいのか、狭い方がいいのか、会長・副会長にご教授いただきたい。
- △ 今回の区域設定の事務局案については、ある程度妥当であると思うが、指標の取り方との関係で、町丁目の真ん中で切ると、人口等が分からなくなるので、その点が気になる。
- 中心市街地の区域の設定については、内閣府への合理的な説明が求められる。事務局案では、京王線を中心とした南北の地区、府中駅を中心とした東西の地区、府中駅から大國魂神社を通り府中本町駅までを結ぶ経路が全て含まれており、かつ、この区域からどこかを削ると中心市街地の活性化や今後エリアマネジメント等で実施していくイベント事業等にも影響があるという点から、狭すぎる、または広すぎるといった印象はない。
- 先ほど委員から質問があったように、指標の項目についても概ね妥当であると思うが、指標の内容を説明するために、店舗構成や新規創業といった数値も必要になる。府中駅と府中本町駅の人往来についても、歩行者交通量調査でわかると思うので、把握しておいた方がよい。
- 宮町3丁目は住民が多いが、なぜ中心市街地のエリアに含まれていないのか。
- 今後5年間に中心市街地の活性化に向けた事業が見込まれるものを含めた範囲で設定している。宮町3丁目は、昔からお住いの方が多地域であり、前述のような事業が見込まれないことから、一応外させていただいている。
- 今日の会議では4ページに記載の区域で確認するが、今後、考え方が出てきた場合には再度検討するということがよろしいか。
- 異議なし。

## 5-2 【府中市中心市街地の現況と課題（弱み、強み）について】

●会長意見 △副会長意見 □委員意見 ○事務局

- 6ページの府中駅南口第一地区再開発事業の事業完了年について、平成29年2月となっているが、公式には、平成29年春になっているので変更していただきたい。
- 中心市街地及び全市の年齢別人口構成比・夜間人口の違いをいずれ出していただきたい。というのも、現在、国土交通省で行っている大都市戦略検討委員会において、目立つのは、春日部市を例に挙げると、人口は微減傾向にあるが、それよりも人口に占める高齢者の割合が近年増えているという点が問題視されている。65歳以上人口は電車に乗らないので春日部駅の乗降客数が減少している。今後を占う指標としては有効である。
- △ 9ページについて、人口が徐々に減少するのは、全体的なトレンドなので理解できる。突然増えたのはマンション等ができたと予測ができる。しかし、宮町3丁目等人口が徐々に増えている地域があるが、理由は把握しているか。
  - 確認する。
  - △ けやき並木の自動車交通量の調査結果も資料に入れていただきたい。
  - 再開発を行っている関係でデータはある。また、回数は減っているが、定期的な調査も行っているため、内容を精査し、今後、出ささせていただく。
  - △ 中心市街地へ来る人はバスで来た場合どこで降りるのかを把握するため、バスの停留所、また、駅へのアクセス方法について教えてほしい。あとは、南口再開発が終了したらどのような形になるのか。
- 中心市街地にある空家・空き店舗数を調べていただきたい。今後、計画を策定する際、空き店舗等があれば、それをどう活用するかというのは計画をアピールする内容にもなる。
- 中心市街地に限らず近辺も含めて、新しいマンション計画があるかどうか、また、これから建つマンションに対して、行政としての指導方針があるかないか。中心市街地が今後栄えるのか衰退するのかの指標になる。
- △ 連合会の会員数は、減少傾向にあるが、全国的なチェーン店も加盟しているのか。
- チェーン店は、あまり入ってくれない。
- 商店数は減少していないが、チェーン店等に貸し出している可能性もある。
- けやき並木沿道の店は、不動産屋に貸し出し、家賃収入に切り替えたところが多い。
- チェーン店が入ってきて、永続したというケースはない。今後、どうなっていくか。
- △ 14ページに民間も含めて、高齢者施設及び子育て支援施設をプロットしておいてほしい。保育所は、若い女性が来るため、それをターゲットにお洒落な喫茶店や、パン屋等ができることがある。現在の傾向として駅周辺に無認可も含め保育園が多くできているはずなので、調べてほしい。
- 新庁舎の建設にあたり、完成後は、特に大國魂神社に面した通りは、人通りが多くなると思うが、新庁舎には、市役所機能しか盛り込まないのか、障害者施設で作っているパンを売るだとか、農産物の直売コーナーといった賑わいや親しみやすさを創出するための機能を盛り込むのか。新庁舎の建替えプロジェクトの年次計画は決まっているのか。
- 現在、プロポーザル方式により、業者を選定中。

### 5-3 【府中市中心市街地の重点事業とまちづくりの考え方について】

●会長意見 △副会長意見 □委員意見 ○事務局

- △ 15ページの表題について、「重点事業」と「まちづくりの考え方」が逆。まちづくりの考え方があって、重点事業がある。上位計画があり、まちづくりの考え方を設定し、その実現のために個別の事業があるという構成にしていきたい。
- △ イベントや再開発もいいが、公共空間をどう活用するかが大事。街路空間や駅前広場など、オープンなパブリックスペースで何を行うかを埋めることで、再開発や大國魂神社でのイベント等、個別の事業が活きてくるので、公共空間の利活用について、もっと前面に出した方がよい。
- まちづくりとしては、けやき並木と大國魂神社という軸があつて、大國魂は神社ではあるが、ある意味公共空間と言える。そこに市役所があり、南口再開発ができれば、中心部に恵まれた公共空間を持っている。
- △ 中心市街地の骨組みにしっかりと据えているこれらの公共空間を使わない手はない。そこに何もないと、周りだけ頑張っているという感じになる。
- 府中市の総合計画にも書いてあるが、くらやみ祭りなど府中が賑わう時があると思う。大國魂神社でのイベントや競馬の開催など色々あると思うが、府中市が中心市街地活性化基本計画を作成するならば、そのような資源を活かし、かつ中心市街地には恵まれた公共空間があるので、それを機会にここで次々にイベント活動により、賑わいを創出するといった筋書きがあると思う。だから、先ほど副会長が言ったように、公共空間にどれだけ人が滞在できるようにするかというのが府中ならではの話である。他の自治体では、交通規制等を行わなければならない。
- 中心市街地は、あくまで「中心性がある」ということなので、中心市街地のエリアには含まれていないが、美術館や芸術劇場等、周辺の施設との連携を考えてみてよい。あとは、府中本町の周辺がもっと賑わうとよい。人通りはあるが賑やかではない。
- 御殿地地区を利活用しない手はない。
- 徳川家康府中御殿の設計図等は見つかっているのか。もっとアピールしてもよいのではないか。
- 残念ながら、図面等は残っていない。ただ、発掘調査で、ある程度、外郭である堀や三葉葵紋の鬼瓦が井戸から発見されている。史跡の整備を図りながら、活用していきたいと考えている。また、駅前の賑わいに重点的に取り組んでいきたい。
- 府中は、武蔵国府跡というイメージが強く全国区の知名度だと思つるので、その中心市街地であるというストーリーを作ればよいと思う。今後、外国人観光客は増加し、今まで行ったことがないところに行きたがるから、府中は吸引力がある。京都にとられるはずがない。観光振興計画も中心市街地活性化計画に入ってくるとよい。
- 中心市街地へ車で来られる方もいると思うが、現在、駐車場からマンションへの建替え等も行われている。車で来た方が途中で自転車等へ乗り換えて中心市街地へ来るよう誘導するような方法はないのか。
- △ 車のことを考えることは当然。中心市街地のエリア内には車で来る人はそう多くないと思うが、エリアの端に少し大きめの駐車場を確保できれば、そこから歩いて来ていただくようになるのではないか。
- 歩いて楽しい道を作る必要がある。

- けやき並木については、伊勢丹と同じようにセットバックし、現在の車道よりも広い空間ができるので、そこの活用方法については、期待するところ。
- 都市再生法では、道路占用許可の申請を緩和することができるが、これからの流れとしては、中心市街地のエリアマネジメント組織が権限を持ち、道路交通法や都市公園法についても、緩和する傾向にあり、ある意味、こちらから提案するとそれが勝ちになるところもあるので、考えたほうがよい。
- 先ほど副会長が言ったように、駐車場を物的につくすることも必要だが、同時にそれを「相互利用」することが大事。例えば、市役所の駐車場を休日には、イベントや商店街用に開放するなど、庁舎建設の段階から検討していくとよい。また、市役所だけでなく、民間会社や施設にもお願いをする体制を最初から作っておくとよい。
- △ その点について、他の自治体でもいつも苦勞するのが警察協議なので、本当は協議会に警察の方も出席していただくことが望ましいが難しいと思うので、日頃から警察とのコミュニケーションを取っておくというのが、中心市街地でのキーの一つとなる。
- ペDESTリアンデッキを活用して賑わいを創出できるのではないか。
- 多摩部でペDESTリアンデッキを活用しているところはない。立川や八王子も立派なものがあるのに何も使っていない。ペDESTリアンデッキの活用は、話題性もあってよいと思う。
- △ 外国だと、地下鉄の中で音楽をやっている人がいるが、あれは地下鉄の会社がオーディションで選んで時間と場所を提供する、非常に企画性のあるイベントである。ペDESTリアンデッキでやってみても面白いのではないか。
- 一部からの批判があっても目立つことをやって府中をアピールすることが重要。
- 20ページの目標を具体化していく。

#### 5-4 【次回の日程について】

- ・府中市中心市街地活性化協議会を5月19日（火）午後3時00分から行う。会場については、開催通知にてお知らせする。